

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

朝夕冷え込む季節となりましたが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、私の所属しております民主党愛知県議員団では、昨年度に作成した「政策index2014」をベースに政策の完成度を更に高め、特に来年度以降に取り組むべき重要な政策を48項目に絞り込んだ「2015政策集：MAP48」を策定いたしました。

このMAPとは、民主・あいち・ポリシーの頭文字であると同時に、愛知の未来に向けた施策を「MAP“地図”」と位置付け、私たちの政策の道筋を示す意味も込めて命名したものであります。

我が愛知県は、輸出関連企業を核に日本経済を牽引してきた“モノづくり立県”であり、これらの産業に裏支えされた恵まれた財政力によって、他県に先んじた施策をこれまで展開し、今日の豊かな郷土・文化を育てまいりましたが、その一方で拡大成長の陰で看過されてきた課題（5兆円を超える県債残高の償還負担や老朽化したインフラの更新コスト、そして子育て・介護医療等の社会保障サービスに係るコスト負担など）が、いま大きな負担となって顕在化してきました。

この政策集では、県民皆様の「命」・「雇用」・「暮らし」を守り、「安定」した愛知を目指す4つのキーワードのもと、大規模自然災害対策や人口減少による社会構造変化への対応、更には統治機構の見直しや行政サービスの効率化など、愛知県が抱える喫緊の課題を大きくは8分野に区分し、重点的に対応すべき政策内容をまとめましたが、政策の実施にあたっては、市町村と連携し取り組むべき課題も多くある事から、来る統一地方選挙を共に闘う仲間との政策共有を図るとともに、その実現に向けてこれまで以上に連携して活動して参ります。



愛知県議会議員

こたま よしかず
樹神 義和 